

【岐阜高専・福島高専】連合チーム DCON2025 本選出場について

岐阜高専と福島高専の学生による連合チーム「Rebounder」が、5月9日（金）・10日（土）の2日間、「第6回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト2025（以下、DCON2025）」の本選に出場した。

Rebounder は、岐阜高専 電気情報工学科の学生5名と福島高専 化学・バイオ工学科の学生1名からなるチームであり、複数の高専による連合チームが DCON 本戦に出場するのは初めてのことである。

DCON2025 は過去最多となる95チームがエントリーし、予備審査を勝ち抜いた10チームが本戦へ出場を果たした。Rebounder は、一次審査にて無人販売所の盗難防止システム「巡視」によるビジネスプランを提案し、二次審査では「巡視」のプロトタイプを制作して事業の実現性を示した。本戦出場決定後は、メンターである株式会社 ABEJA 岡田 陽介氏の助言のもと、「巡視」からよりブラッシュアップしたビジネスモデル「AgriNode」を発案・開発を進めた。

本選の審査では入賞に至らなかったものの、技術活用や事業創出を学ぶ貴重な経験となった。チームリーダーの奥村さん（電気情報工学科5年）は、「今回得た知見と指摘を活かし、事業立ち上げに向けて成長できるように尽力したい」と語った。

Rebounder のメンバー



DCON2025 本選プレゼンテーション発表の様子

